農林水産統計
Statistics of Agriculture, Forestry and Fisheries
農林水産省
大臣官房統計部
平成26年10月14日公表

平成26年産「い」の作付面積、収穫量及び畳表生産量（主産県）

― 収穫量は、前年産に比べて14%減少 ―

【調査結果の概要】

1　作付面積

主産県（福岡県及び熊本県）における作付面積は739haで、前年産に比べて79ha（10%）減少した。

これは、他作物への転換等により作付けが減少したためである。

2　10ａ当たり収量

10ａ当たり収量は1,370kgで、前年産に比べて５％下回った。

これは、５月上旬の低温で生育が抑制され、その後６月中旬から７月上旬までの降雨により茎の伸長が回復したものの、作柄の良かった前年産を下回ったためである。

3　収穫量

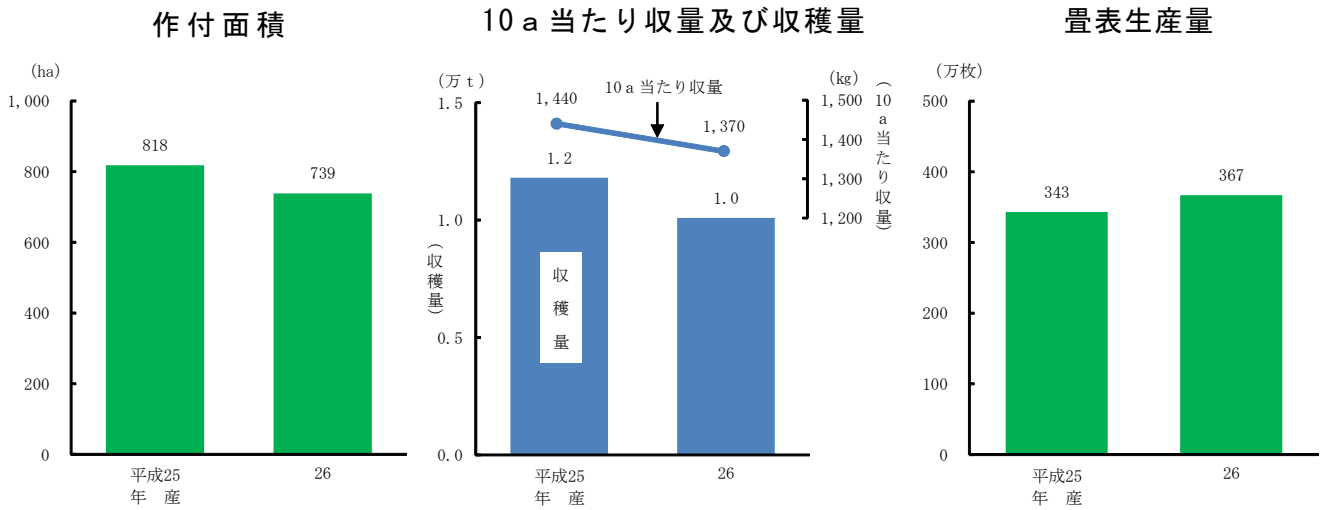
収穫量は１万100ｔで、前年産に比べて1,700ｔ（14%）減少した。

これは、作付面積の減少に加えて、10ａ当たり収量が前年産を下回ったためである。

4　畳表生産量

平成25年７月から平成26年６月までの畳表生産量は367万枚で、前年に比べて24万枚（７％）増加した。

図　「い」の作付面積、10ａ当たり収量、収穫量及び畳表生産量（主産県）



この統計調査結果の統計表は、政府統計の総合窓口(e-Stat)の「統計データ新着情報」で御覧いただけます。
【 http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do 】

◎　調査結果の主な利活用

・　秩序ある貿易の促進を目的とした日中農産物貿易協議会におけるいぐさ・畳表の需給動向に関する検討のための資料

・　いぐさに関する生産振興に資する各種事業（強い農業づくり交付金等）の推進のための資料

◎　累年データ

「い」の作付面積、10ａ当たり収量、収穫量、い生産農家数、畳表生産農家数及び畳表生産量の推移（主産県）

区　分	作付面積	10ａ当たり収量	収穫量	い生産農家数	畳表生産農家数	畳表生産量
	ha	kg	t	戸	戸	千枚
平成17年産	1,700	1,280	21,800	1,170	1,110	7,820
18	1,370	1,120	15,300	1,030	983	6,880
19	1,110	1,370	15,200	851	810	4,930
20	1,070	1,280	13,700	806	788	4,790
21	1,000	1,430	14,300	767	756	4,320
22	899	1,280	11,500	705	691	4,050
23	838	1,150	9,640	653	638	3,870
24	854	1,240	10,600	639	609	3,320
25	818	1,440	11,800	622	615	3,430
26（概数）	**739**	**1,370**	**10,100**	**576**	**560**	**3,670**

資料：農林水産省大臣官房統計部『作物統計』

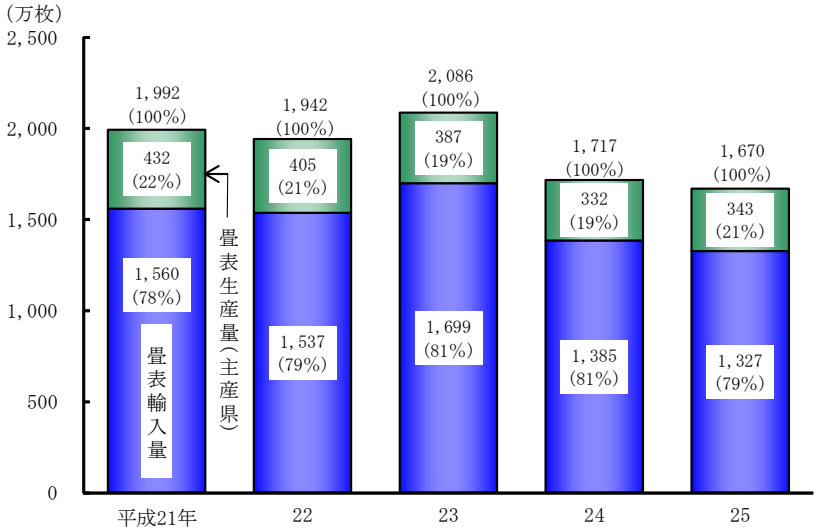
注：1　い生産農家数は、各当該年産の「い」の栽培を行った農家の数である。

2　畳表生産農家数は、各当該年の前年７月から当年６月までに畳表の生産を行った農家の数である。

3　畳表生産量は、各当該年の前年７月から当年６月までに生産されたものである。

◎　関連データ

畳表生産量（主産県）及び畳表輸入量の推移



資料：農林水産省大臣官房統計部『作物統計』、財務省『貿易統計』

注：1　輸入量については、財務省『貿易統計』の輸入量（重量）を畳表１枚当たりの平均使用量1.7kgとして枚数に換算した量である。

2　（ ）内の数値は、畳表生産量（主産県）及び畳表輸入量を合計した値に対する割合である。

【統計表】

１ 平成26年産「い」の作付面積、10ａ当たり収量及び収穫量（主産県）

区分	作付面積	10a当たり収量	収穫量	前年産との比較 作付面積 対差	前年産との比較 作付面積 対比	前年産との比較 10ａ当たり収量 対比	前年産との比較 収穫量 対差	前年産との比較 収穫量 対比	（参考）10a当たり平均収量対比	（参考）10a当たり平均収量
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
主産県計	739	1,370	10,100	△ 79	90	95	△ 1,700	86	104	1,320
福岡	14	1,350	189	△ 3	82	103	△ 34	85	108	1,250
熊本	725	1,370	9,930	△ 76	91	94	△ 1,670	86	104	1,320

注： 「（参考）10ａ当たり平均収量対比」とは、10ａ当たり平均収量（原則として直近７か年のうち、最高及び最低を除いた５か年の平均値）に対する当年産の10ａ当たり収量の比率である。

なお、主産県計の10ａ当たり平均収量は、各県の10ａ当たり平均収量に当年産の作付面積を乗じて求めた平均収穫量を積み上げ、当年産の主産県計作付面積で除して算出している。

２ 「い」の生産農家数、畳表生産農家数及び畳表生産量（主産県）

区分	い生産農家数	畳表生産農家数	畳表生産量	前年産との比較 い生産農家数 対差	前年産との比較 い生産農家数 対比	前年産との比較 畳表生産農家数 対差	前年産との比較 畳表生産農家数 対比	前年産との比較 畳表生産量 対差	前年産との比較 畳表生産量 対比
	戸	戸	千枚	戸	%	戸	%	千枚	%
主産県計	576	560	3,670	△ 46	93	△ 55	91	240	107
福岡	14	12	53	△ 3	82	△ 4	75	△ 8	87
熊本	562	548	3,620	△ 43	93	△ 51	91	250	107

注：１ い生産農家数は、平成26年産の「い」の栽培を行った農家の数である。
２ 畳表生産農家数は、平成25年７月から平成26年６月までに畳表の生産を行った農家の数である。
３ 畳表生産量は、平成25年７月から平成26年６月までに生産されたものである。

【調査の概要】

1　調査の目的

本調査は、特定作物統計調査の「い」調査として実施したものであり、「い」の生産に関する実態を明らかにすることにより、秩序ある貿易の促進を目的とした日中農産物貿易協議会におけるいぐさ・畳表の需給動向に関する検討のための資料、いぐさに関する生産振興に資する各種事業（強い農業づくり交付金等）の推進のための資料等とすることを目的としている。

2　調査の対象

(1)　調査の範囲

福岡県及び熊本県

(2)　調査対象の選定

調査対象作物を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした（全数調査）。

(3)　調査対象数

	団体数 ①	回収数 ②	回収率 ③＝②／①	巡回･見積り 市 町 村 数
	団体	団体	%	市町村
い	4	4	100.0	105

3　調査事項

作付面積、10ａ当たり収量、収穫量（畳表生産量を含む。）及び生産農家数（畳表生産農家数を含む。）

4　調査期日

収穫期

5　調査・集計方法

(1)　作付面積調査

関係団体に対する往復郵送調査結果、職員による巡回・見積り結果及び情報収集結果により算出している。

(2)　収穫量調査

関係団体に対する往復郵送調査結果により算出した10ａ当たり収量を、必要に応じて職員による巡回・情報収集結果により補完し、これに作付面積を乗じて算出している。

なお、主産県計については、福岡県及び熊本県の結果を積み上げ集計している。

6　目標精度

本調査は、関係団体に対する全数調査結果を用いて統計値を算出していることから、目標精度は設定していない。

7　用語の解説

(1)　**「い」の生産農家数**とは、「い」を生産する全ての農家の数をいう。

(2)　**畳表生産農家数**とは、「い」の生産から畳表の生産まで一貫して行っている農家の数をいう。

(3)　**畳表生産量**とは、畳表の生産枚数をいう。

なお、平成26年産の畳表は、主に前年産の「い」を用いて平成25年７月から平成26年６月までに生産されたものである。

8　統計表の見方

(1)　統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原　　数		５桁 （万）	４桁 （1,000）	３桁以下 （100）
四捨五入する桁数（下から）		２桁	１桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	12,300	1,230	123

(2)　表中に用いた「△」の記号は、負数又は減少したものである。

9　その他

この資料の数値は概数値である。確定した詳細な数値はホームページに掲載（平成27年６月予定）するとともに、その後刊行する『平成26年産作物統計』に掲載する。

なお、確定した詳細な数値をホームページに掲載した後の正誤情報はホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

○　各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/ 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「工芸農作物（さとうきび、茶など）」に分類しています。

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省>組織・政策>大臣官房の部局別トップへ
http://www.maff.go.jp/j/kanbo/

農業生産振興関係ページ：農林水産省>組織・政策>生産局の部局別トップへ
http://www.maff.go.jp/j/seisan/

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111　内線3682
（直通）03-3502-5687
ＦＡＸ：　03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 広報普及班
電話：（代表）03-3502-8111　内線3589
（直通）03-6744-2037
ＦＡＸ：　03-3501-9644

平成27年２月１日現在で、2015年農林業センサスを実施します。

○農林業経営体調査（平成26年12月中旬～平成27年２月末）
○農山村地域調査（平成27年４～６月末）

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページＵＲＬ：http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc